



令和2年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【横山地区】

令和3年3月31日現在

| | 団体名 | 事業等の名称 | 事業の概要 (申請時) | | | 交付決定 年月日 | 事業予算(単位:円) | | |
|---|---------------|---|---|---|---|-------------|------------|---------|---------|
| | | | 事業の背景 | 事業の目的 | 事業の内容 | | 全体額 | 申請額 | 交付金額 |
| 1 | みんなで見守る横山地区の会 | 緊急時における情報提供推進事業 | 昨今の大規模災害発生を受け、横山地区でも「災害時に於いての避難場所の認識、災害時に家族が集まる場所を家族で認識しておく」「緊急時における、安否確認や救急救命の情報提供の事前準備しておく」が十分とは言えない状況であった。昨年度は、この状況を改善しようと「緊急時における情報提供推進事業」として「緊急時医療情報シート」を作成し、地区に配布、家族での話し合い、シートへの記入による避難場所等の周知を目指した。 | ・今年度は2年目として、フォロー - の年とする。(配るのが、目的ではない。定着、活用されていることが大事) 安心して暮らせる横山地区推進活動の一環として、災害時等の避難場所や、家族の連絡先等情報を、一つのシートに記入、これを家庭の中で普段から目に付くところに置き、いざという時の備えとする。何かあつての救急活動や、家屋倒壊時等の救急救助等に役立つ。然し残念ながら、配布はしたが説明する機会がなく、昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策等で、住民の方に周知徹底が十分できなかった。今年度は事業主旨、記入方法の説明、ステイホームの今、家庭での話し合いをしてもらい、コロナ、熱中症等で不安な方達に、少しでも安心して暮らしていただきたい。 | 今年度は2年目として、フォロー - の年とする。(配るのが、主目的ではない。家族でいざという時の集合場所の話し合い、避難場所の周知・定着、活用されていることが大事) ・直接配布できていないので、自治会回覧、及びポスター - 掲示により、記入、家庭での話し合いの重要性について、次の様なことの説明と、未配布への配布を実施する。 主旨説明 シート、カードの存在確認、緊急情報データ記入、家族での集合場所等の話し合い(独居の方は緊急連絡先確認、記入)コロナウイルスが終息次第、ふれあいサロン等各種事業の折、説明を行い活用を促す。 ・アンケート用紙を配付し、情報シート、携帯カードの活用状況等について確認する。 | R2.9.24 | 95,000 | 95,000 | 95,000 |
| 2 | 横山地区自治会連合会 | 横山地区「新型コロナウイルス感染症拡大に備えた自治会における感染症対策等推進事業」 | 新型コロナウイルス感染症について、今後、第二波・第三波の流行が危惧される中、日常生活における「新しい生活様式」の実践が強く求められている。これは地域のコミュニティ活動の中核を担う自治会活動においても例外ではなく、コロナ禍で人と人の繋がり希薄化が懸念される状況において、ウィズコロナ、アフターコロナ環境下でも安心して自治会活動を行える備えが急務となっている。 | 自治会活動における感染症対策に資する物品の用意や地域住民への「新しい生活様式」等の周知・啓発を通じて、今後懸念される第二波・第三波に備えた感染拡大の防止を図るとともに、「新しい生活様式」を踏まえた自治会活動の継続・充実を図ることを目的とする。 | ・横山地区自治会連合会及び地区内23自治会に、自治会活動における「新しい生活様式」の導入に必要な感染症対策物品の配備を行う。 ・コロナ禍における防災対策に関するチラシ・ポスターを作成し、地域住民への周知・啓発を行う。 | R2.9.25 | 670,000 | 670,000 | 670,000 |
| | | | | | | | 765,000 | 765,000 | 765,000 |